報告事項（２）平成２７年度事業報告について

平 成 ２ ７ 年 度 事 業 報 告

〔平成２７年4月1日~平成２８年3月３１日〕

近年の社会情勢は、経済政策の効果などを背景として、景気の緩やかな回復基調の動きがみられ、雇用情勢や消費活動についても、環境改善が続くなかで回復に向かうことが期待されています。また、熊谷市高齢社会対策基本計画においては、高齢化率が上昇する中、就労を希望する元気な高齢者も増えていることから、豊かな知識と経験を持った高齢者の働く場を確保するため、就労支援の充実が課題とされています。

このような状況をふまえ、熊谷市シルバー人材センターは、平成２７年度事業計画及び中期基本計画に基づき、公益社団法人としての役割及びその公益性に基づいた予算執行のもと、高齢者に対する就業機会の確保に着実に取り組むとともに一層のサービス強化に向け、会員による主体的な活動を通じ地域社会に密着した事業運営を推進してまいりました。

平成２７年度の受託事業の実績概要につきましては、会員数は１，３４４人（前年度比３．４％減）、受託件数は６，３９７件（前年度比３．０％減）、契約金額は５億７，０５５万円（前年度比３．２％減）、就業延人員は１３０，９２６人日（前年度比３．６％減）となり、いずれの項目についても残念ながら前年度を下回る結果となりました。一方、労働者派遣事業（シルバー派遣）につきましては、今年度初めて実績を計上することができました。

以下、主な事業と成果についてご報告いたします。

１　会員の増強と人材の育成

⑴　会員の入会促進の取り組みとして、「市報くまがや」に入会案内の記事を掲載（２回）し、広く市民に周知を図るとともに、毎月２回の入会説明会を開催し、シルバー事業の魅力をＰＲしました。また、地区懇談会を活用して会員に周知を図り、専用チラシを作成のうえ、会員自らによる「１会員２名紹介運動」を実施しました。

⑵　人材の育成に向けた研修事業として、新入会員研修、技能研修（植木の手入れ、襖の張替え、見積り研修など）、生活支援群研修（オリエンテーション、掃除、片付、子育てなど）、救命講習及び接遇研修、並びにリーダー研修を開催し会員の資質向上を図りました。

２　就業開拓の強化

⑴　就業開拓及び賛助会員の増強を目的とした、理事及び就業機会創出員に

よる発注先への訪問活動を実施しました。（訪問件数：延べ９３件）

⑵　就業機会創出員による仕事の開拓・拡大を目的とした事業所及び家庭への訪問活動を実施しました。（訪問件数：延べ２，２６７件）

⑶　ワークシェアリングの推進及び未就業会員対策として、さくら祭・花火大会に伴う清掃業務を受注し就業機会の拡大を図りました。

⑷　生活支援・子育て支援及び熊谷市から委託を受けている軽度生活援助事業の拡大に取り組み、受注件数の増加を図りました。

３　安全・適正就業の推進

⑴　安全・適正就業委員会及び推進員による就業現場の巡回パトロールを毎月実施し、会員の事故防止に対する安全・適正就業の意識向上を図りました。

⑵　「シルバー熊谷」に安全・適正ニュースのコーナーを設け、事故発生状況、事故・クレームゼロなどの推進計画を掲載し、安全・適正就業に関する共通認識の向上を図りました。また、事故防止対策及び熱中症対策などの周知を図りました。

⑶　熊谷警察署と連携した､「自転車ヘルメット・反射材着装促進リーダー」の取り組みとして、交通事故防止運動に参加するとともに、街頭における啓発活動に参加しました。

⑷　安全・適正就業推進大会を開催し、安全・適正標語の表彰、会員による事例発表及び″人″を基本とした事業推進を行うための基調講話を実施するとともに大会宣言を採択し、センターを挙げて安全・適正就業の意識向上に取り組みました。

⑸　地区懇談会において、事故発生状況等を報告し、事故防止などの安全・適正就業意識の向上を図りました。

⑹　職群交流会及び職群班会議において、受注状況、就業体制、作業手順の策定、法令順守及びシルバー派遣等を議題とし、安全・適正就業についての共通認識の向上を図りました。

４　組織の強化

⑴　総務部会

①「シルバー熊谷」を発行し、センター事業のＰＲを実施しました。また、新入会員研修を実施するとともに「入会のしおり」を改訂しました。

②チラシの全戸配布、熊谷市産業祭への出店、ホームページの活用等を実施し、広く市民にセンターのＰＲを行いました。

③会員のセンター事業への参加意識や交流を図るため、地区ごとに懇談会を開催するとともに地域班会議を行いました。

④会員意向調査を実施し、健康状態や就業ニーズ及びセンター事業活動の展開に向けたデータ収集を行いました。

⑵　事業部会

①就業開拓に係る企業訪問活動を計画するとともに、新規事業の立ち上げを目指し、会員の参画や企画・提案を促進しました。

②事業運営の重点課題である安全・適正就業について、安全・適正就業委員会及び職群委員会と連携し、事故防止対策、ワークシェアリングの推進、長期就業対策に取り組みました。

③職群交流会及び職群班会議、各種研修会を開催し、技能の向上及び課題の検討に取り組みました。

⑶　その他

①会員視察研修を実施するとともにサークル活動の拡大に努めました。

②地区委員・地域班長、職群委員・職群班長等を対象としたリーダー研修を実施しました。

③シルバー事業に協力いただける賛助会員の増強に取り組みました。

５　財政基盤の確立

センター運営にあたっては、財源の確保及び経費等の削減に取り組むとともに、収支相償に努めました。

６　中期基本計画進捗状況の点検

基本施策の推進を図るとともに、４年目における計画の進捗状況を検証し、今後の取り組み方針について点検を実施しました。また、検証の概要及び会員意向調査の報告として、シルバー熊谷に掲載しました。

７　ボランティア活動の推進

地域貢献活動として、清掃等のボランティア活動を市内６ヶ所で実施しました。

８　有料職業紹介事業の実施

有料職業紹介事業における、「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用による就業」について、地域ニーズなどに関する調査・研究を実施しました。

９　一般労働者派遣事業の実施

　これまでの開拓活動が実を結び、調理、梱包、清掃などの短期派遣３件、商品販売、管理などの継続派遣３件の実績がありました。

　就業会員数　２４名

　就業延人員　８３３人日

　契 約 金 額　３２９万円